

2012年8月12日
コロラドスプリングス U.S.A

パイクスピーク・ヒルクライム 決勝レポート プラクティスでの快走実らずリタイヤするも 電気自動車開発に大きな足跡

コロラドスプリングス 8月12日(晴れ、山頂付近は時々曇り) 2012パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムの決勝レースが行われた。

チーム APEV with モンスタースポーツは、アメリカ現地入りから積極的にテストを重ね、E-RUNNER パイクスピークスペシャルのポテンシャル向上を計ってきた。

3日間のプラクティスを有効に使い、決勝レースへ向けてさらに細かな調整を行ってきた結果、走るごとにセッティングが進みタイムも向上、エレクトリッククラスのトップでフィニッシュすることは盤石、総合優勝も争えるポテンシャルがあることを確認することができた。

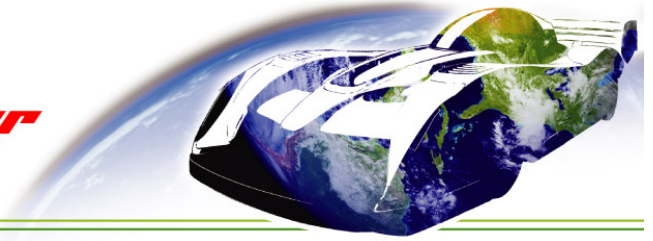


迎えた決勝。エレクトリッククラスの1番目としてスタートした E-RUNNER パイクスピークスペシャルは、スタートから1km程で突如白煙をあげストップ。リタイヤを喫することとなった。原因はモーターのトラブルによるもので、これまでのテストでは全く兆候すらなかったものであり、今後マシンを日本に持ち帰り、原因をより深く追求して行く。(次ページへ)



TEAM APEV
PIKES PEAK CHALLENGE

monster
SPORT



しかしながら、事前テストからプラクティスまでを通じて見せてきたパフォーマンスに疑いの余地はなく、最終的にレースはリタイヤという結果に終わったものの、チャレンジする過程で非常に多くのものを培うことができた。世界一過酷なレースと言われるピクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムへの挑戦で得た成功と課題が、電気自動車の技術開発に大きな足跡を残したと言えるだろう。

さらに、この活動を通じて多くの人達に環境に対する取り組みに関心を持っていただき、温かい声援をいただけたことは特筆すべきことだといえる。

たくさんのご声援ありがとうございました。

また、本活動をご支援いただいた協賛各社には心より御礼申し上げます。

チームは来年のリベンジを誓い、より一層の研究開発に邁進して行きます。

【ドライバー モンスター田嶋 コメント】

「ピクスピークには魔物が棲むと言われていますが・・・スタートしてわずか 1km 位の所で車内に煙が立ちこめてきたため、トラブルを察してマシンを止めました。プライベートテスト、プラクティスを通じて熟成をしてきており十分に自信はありましたが、このようなトラブルは初めてで、これまで非常に快調だっただけに、今はただレースの結果に失望しています。

しかし、私達はまだ新しい技術に挑戦している過程であり、チャレンジには様々な困難がつきものです。今日の結果を受けて、来年に向けてさらに技術開発を進めて行きます。応援ありがとうございました。」

【お問い合わせ先】

ピクスピーク EV チャレンジ実行委員会

田中郁子 (電気自動車普及協議会 事務局) TEL: 03-5325-3365 E-mail: tanaka@apev.jp

石倉智之 (株式会社タジマモーターコーポレーション 広報グループ)

TEL: 0538-66-0020 E-mail: pr@tajima-motor.com

レース関連については石倉までお問い合わせください。

